

最優秀賞

大学生部門〈言葉の力〉

北海道教育大学釧路校

中村 洸太

## 心を込めて ひたむきに

小学校五年生からバスケットを始め、十年以上が経つ。様々な指導者の先生に出会ったが、中学二年生の時の先生のことは一生涯忘れることはないだろう。

中学二年生の時に出会った先生は、教師になって一年目、まだ臨時採用の女性の先生だった。その先生が顧問として練習に来て、自己紹介をした時にまず驚いた。バスケットで有名な大学出身で優勝も経験している先生だったのだ。そして、自己紹介が終わり、今後の練習の日程表が配られた。その日程表の上にある言葉が書かれていた。

「心を込めて ひたむきに」

先輩たちが引退し、新チームとなり、僕が主将に指名された。もちろん先生は有名大学出身なだけあり、バスケットもうまい、アドバイスも的確、なにより一生懸命であった。僕達も先生の指導のもと練習を行っていくことで段々と試合で勝てるようになっていった。なによりも先生のもとでバスケットをするのが楽しかった。しかしバスケット部に事件が起きる。部員のいじめが発覚したのだ。僕は周りに見せないようにしていたがかなり落ち込んだ。それを慰めてくれたのは自分も落ち込んでいるだろう先生だった。「大丈夫」「あまり重く受けとめ過ぎるな」、学校で会う度に声をかけてくれた。二人で話し合いも行った。次の進む道を示してくれた。その姿はまさに「心を込めてひたむき」だった。この先生はバスケットだけでなく、生徒に対しても、授業でも、普段の生活でも「心を込めてひたむきに」過ごしていたのだ。その姿を、背中を見せているからこそ、僕たちもついて行こうと思えるのだ。たった一年しか一緒にいなかったが、一番印象に残っている先生であることは疑いようがない。

僕も今、教育大学の四年生。先生という職業に就いた時には、子どもに「心を込めてひたむき」な姿を見せていきたい。